



〒103-0014  
 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目6番11号 伊藤ビル 3F  
 電話 03-3808-0101 FAX 03-5614-0718



主な交通機関

- 地下鉄 東京メトロ半蔵門線・水天宮駅・6番出口 270m 3分
- 東京メトロ日比谷線・茅場町駅・7番出口 400m 5分
- 都営浅草線・人形町駅・A2出口 450m 6分
- 都営浅草線・人形町駅・A6出口 550m 7分
- 都営新宿線・浜町駅・A2出口 1000m 12分

Asean Japan Business Friendship Organization

**AJBFO**

Association Profile

案内

一般社団法人

日本アセアン経済友好機構

## ■一般社団法人

General incorporated association

名称  
東京事務所  
神戸事務所  
url/ email  
設立

事業内容

## ■事業方針

Top Message

### 一般社団法人日本アセアン経済友好機構

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸薬町1-6-11  
TEL. 03-3808-0101 (代表) FAX. 03-5614-0718  
〒650-0002 兵庫県神戸市中央区北野町4丁目7-3  
TEL. 078-221-6878 FAX. 078-330-8845  
http:// www.ajbfo.com e-mail : info@ajbfo.com  
2013年10月7日

1. アセアン諸国と日本の友好を促進するための支援事業
2. アセアン諸国民の就労の場を拡大する事業
3. 教育施設（小中学校）の充実と日本語教育の増進事業
4. 日本企業のアセアン諸国進出に関するコンサルティング業務及び登記・申請等の手続き支援事業
5. アセアン諸国内の都市交通整備事業に係る支援事業
6. その他法人の上記の目的を達成するために必要な事業

当法人は、アセアン諸国と日本において経済上の交流を通じて、日本企業のアセアン諸国への進出を支援し技術や経営環境の向上を目指し、教育面では日本語教育を増進しアセアン諸国に進出する日本企業にメリットを増大させ、またアセアン諸国の国民に対しては日本企業への就職に際し所得を向上させ、少子化・高齢化で労働力不足に向かっている日本で就労するチャレンスを増やし、介護や世界でも最高の日本式サービスの取得が帰国後アセアン諸国の国や国民に対してでもメリットある事業を展開する。  
その目的に資するため、次の事業を行う。

### 1. 教育支援事業。

- 1) アセアン諸国の子供に教育支援。  
教育環境を充実するには施設の整備や教育環境のインフラ整備が必要です。支援金だけではなく具体的な環境作りを推進します。
- 2) 就学率の向上を目指して。  
地方の町や村では中学・高校生の最終就学率が40～60%の学校が、まだまだ存在します。通学に片道2～4時間もかかる生徒もいます。  
我々は日本の放置自転車を整備して海外の子供に貸与し、通学時間を短縮しております。
- 3) 日本語教育の充実。  
日本語の勉強を通して成績優秀な学生には、日本留学への道を開き、奨学金制度も整備して日本に迎えます。また、独自で日本語の勉強をする若者に対しても授業料の援助もいたします。

## 事業方針

### 将来性と夢のある事業へ

### 教育支援事業

### 事業支援

### 2. 事業支援。

当社団の企業支援は、アセアン諸国へ進出する企業に対して、現地の市場調査や法律・規制を含めた事業環境調査、法人設立の手配・銀行口座開設等の手続き等が安心して依頼できることが最大のメリットとなります。  
このようなコンサルティング業務に対し、その国内のNGOや大学機関・日本商工団体等の各団体とネットワークで連携しておりますので安心していただけます。  
当法人の特異性は、営利事業の企業ではなく、多くの日本国民・日本の企業からの義援金で運営されております特殊法人であります。構成メンバーや会員の皆様は企業経営や団体・組織運営の経験者で構成されており、基金は大手企業等の国内企業に協力願ひ寄付金は一般から学生・子供等のボランティアのお金で運営されます。

### 3. 将来性と夢のある事業へ

日本の企業は世界をリードする大手企業とそれを支えてきた中小企業で構成されておりますが、国内需要の低迷と高齢社会で元気がなくなっています。  
今、日本にとってアセアン諸国の若い力を望んでおります。  
アセアン諸国には日本の先端技術・高度なサービスが望まれております。日本は敗戦後必死で国を再建し、世界有数の経済国へ成長しました。成功へ導いた人々が現役を引退してありますが、この経験・実績は生きています。このパワーを元にアセアン諸国の発展の為に努力・協力を惜しみません。  
私どもの団体がその橋渡しとなりこの環が世界に広がることを願っております。